

令和6年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 か所につき 1 枚)

会派名	新しい風		
出席者	渡邊愛彦		
事業名	令和6年度市町村議会議員研修2日間コース「自治体予算を考える」参加		
事業区分	①研究研修②調査		

1. 韮崎市での課題と研修・調査の目的

韮崎市が発行する市民一人当たりの市債残高は、韮崎中央体育館建設など大口の投資案件が進行中ということもあり高い水準にある。これに伴い、財政健全化判断比率として公表されている「実質公債費比率」や「将来負担比率」の悪化が見込まれ、財政硬直性の判断材料となる「経常収支比率」も悪化傾向にある。市町村議会議員研修「自治体予算を考える」に参加し、韮崎市の実態を理解し、今後の改善に向けての方策などを検討に生かしたいと考えた。

2. 実施概要

実施日時	令和6年8月8日～8月9日		
視察先	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎 2-13-1)実施の2日間研修		
担当部局	教務部研修担当		
報告内容	令和6年度市町村議会議員研修2日間コース「自治体予算を考える」に参加した。講師は武庫川女子大学経営学部 金崎健太郎教授。初日の8月8日は「自治体予算の原則」「歳入・歳出予算の基礎とそのチェックポイント」の講義を受けたあと、グループ討議がなされた。2日目は「財政の現状把握～地方会計の活用～」の講義を受けた後、グループ討議がなされた。自治体財政の現状把握の手法と課題の確認、それに対する対応方法などを良く理解できた。		

感想（まとめ） ・ 市政に活かせること	1. 運営状況 滋賀県大津市唐崎にある全国市町村国際文化研修所の提供する研修は実践的で、講師の講義も大変充実しておりわかりやすかった。その後のグループディスカッションで他の自治体の方と演習で他市の状況や参加者の考えなども聞け参考になった。
	2. 考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか） 研修で自治体予算の原則や歳入歳出予算の基礎やチェックポイントは理解できたので、韮崎市の予算や決算を分析し、近隣と自治体や類似自治体とも比較し、問題点や課題を把握の上、議会質問につなげて行きたいと思います。

※写真等がある場合は添付すること